

拳の最中にトランプ前大統領も核兵器の使用を示唆した。本来なら核兵器禁止や非戦を主張すべき日本においても、保守政治家たちは核兵器の配備や軍備拡張を主張している。

他の知的生物が確認

核戦争が始まれば人類の絶滅は間近であろう。「人新世」を議論する必要もなくなる。人間活動の痕跡を刻んだ地層は何千万年か後に、他の知的生物によって確認されることであろう。

最終氷期が終わり急激な温暖化が進んだ最近の約1万1700年を「完新世」としている。地球の歴史を一年に例えるなら、12月31日の最後の1分20秒に相当する。

3万年前、旧人と共存

ホモ・サピエンスは約20万年前にアフリカで生まれ、約10万年前にユーラシア大陸に出たときれている。3万年前頃までホモ・サピエンスは、ホモ・エレクトスなどの原人やネアンデルタール人・デニソワ人などの旧人と共存していた。

ネアンデルタール人は脳の容積や体力などの面でホモ・サピエンスに劣らぬ形質を獲得していたことが分かっている。ホモ・サピエンスよりもはるかに長い期間、さまざまな環境変動にも耐えて生き続けてきた原人や旧人は、何故絶滅してしま

ったのだろうか？

優れた協同の能力

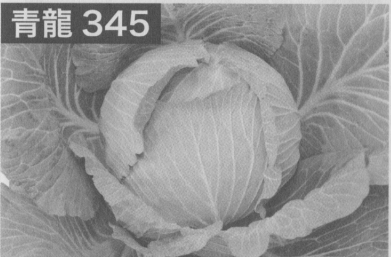
ホモ・サピエンスとの競合が他のホモ属(人属)の絶滅を早めてしまった可能性が大きい。その理由としてホモ・サピエンスは個々の能力よりもコミュニケーションによる協同の能力に優れているため、という推察がある。協同することにより狩猟や他の種族との闘争を有利に進めることができたためである。

協調性・同調性は人類の優れた特性のひとつではあるが、その能力を戦争や環境破壊ではなく、人類の平和と存続に向けてなくてはならない。

(終わり)

タナカのタネ

青龍 345



九州特産種子 生産知